

# 東愛知新聞

3月26日月曜日

発行所:東愛知新聞社 〒441-8016 豊橋市新栄町字鳥瞰62 電話0532(32)3111  
ホームページ:http://www.higashiaichi.co.jp

【大安】

## 豊橋市陸上競技場

# スタンド改装ランナー快走

### こけら落としは ハーフマラソン 五輪出場3人が花添える



「第9回穂の国・豊橋ハーフマラソン」(豊橋市など主催)が25日、スタンドが新しくなった豊橋市陸上競技場を発着点に開催された。完成式典には豊橋ゆかりの陸上で五輪出場の3人も出席、花を添えた。ランナーは春の陽気の下、真新しいスタンドの前を通り、市電通り、桜並木、豊川沿いなど、日本陸連公認コースとなった名物コースを走り抜けた。(中村晋也)

けがの防止、疲労の回復につながる運動機器、屋内練習走路など「選手を育てる」をコンセプトにした機能を備え、生まれ変わったスタンド。新しいスタンドの前を走り抜けるランナー―豊橋市陸上競技場で

原光一市長は、式典で「健康づくり、競技力のアップに」と期待を込めてあいさつした。式典では、1964(昭和39)年の東京五輪100000人の船井照夫さん、2004年アテネ、08年北京五輪30000人の岩水喜孝さん、16

スタンド完成式典に出席した(左から)船井さん、岩水さん、鈴木さん―豊橋市陸上競技場で

年リオデジャネイロ五輪50000人の鈴木亜由子さん(日本郵政グループ女子陸上部主将)も出席し、テープカットをして完成を祝った。

新・陸上競技場のこけら落としとなったハーフマラソン(21・0975キロ)では、スタートを前に、おなじみのスポーツ



桜の木の下を走るランナー―豊橋・朝倉川沿いで



序盤までランナーと一緒に走り、ゴール地点では完走者を笑顔で迎えた。男女年齢別の8部門に各地から約5000人が出場。東京マラソン2017で日本人4位の服部勇馬さん(トヨタ自動車陸上長距離部)も参加し、圧倒的な強さでゴールした。他のランナーも、完